

心理学域報告 (2015.4.1~2015.9.30)

I 人事異動

2015年4月1日

大塚 泰正	准教授	就任 [広島大学]
藤 桂	准教授	昇任
関口 雄一	特任助教	就任 [筑波大学人間総合科学研究科]
中野 詩織	特任助教	就任 [筑波大学人間総合科学研究科]

2015年5月16日

田中 真理	助教	就任 [東京成徳大学]
-------	----	-------------

2015年6月1日

佐藤 有耕	教授	昇任
-------	----	----

II 学域構成員 (2015年9月30日現在)

		研 究 領 域									
		実 験		教育・認知		産業・社会		発 達		臨床・相談	
教 授		綾部 早穂		原田 悦子		相川 充		安藤 智子		石隈 利紀	
		一谷 幸男		茂呂 雄二		岡田 昌毅		大川 一郎		沢宮 容子	
		小川 園子				松井 豊		櫻井 茂男		杉江 征	
		Constantine Pavlides							佐藤 有耕		藤生 英行
								濱口 佳和			
准 教 授		加藤 克紀		宇佐美 慧		藤 桂				青木佐奈枝	
		山田 一夫		外山 美樹		湯川進太郎				飯田 順子 大塚 泰正	
講 師										望月 聡	
助 教		高橋 阿貴								坂本 憲治	
										田附あえか 田中 真理 中岡 千幸	
特任助教		永田 知代						関口 雄一			
		中野 詩織						藤原 健志			
特任研究員								村上 達也			

III 訃報

2015年9月12日に本学名誉教授菊地正先生が逝去されました。心から哀悼の意を表します。

IV 心理学域教員指導論文題目一覧

1. 2013年度 博士論文

(1) 課程博士

氏名	論文題目	指導教員
心理学専攻		
高田 治樹	大学サークル集団への態度変容過程の検討	松井 豊
中野 詩織	ニオイの知覚に及ぼす刺激文脈の影響	綾部 早穂
守下奈美子	船員教育におけるアイデンティティ形成のための学習環境デザイン	茂呂 雄二
渡辺 伸子	大学生のお金に対する信念が家計管理と社会参加に果たす役割	佐藤 有耕
ヒューマン・ケア科学専攻		
泉水 紀彦	社交不安の自己認識に関する心理学的研究	望月 聡
水野 雅之	サポート資源の認知と活用が進路選択および就職活動に及ぼす影響	濱口 佳和
山田 圭介	感情制御によるスピーチ場面の克服過程に関する心理学的研究	杉江 征
感性認知脳科学専攻		
新倉 怜	新生仔期 NMDA 受容体慢性遮断ラットの潜在制止に関する行動学的研究	一谷 幸男
領家 梨恵	ラットにおける条件性恐怖反応のストレス誘発性増強： PTSD 動物モデルとして	山田 一夫
生涯発達科学専攻		
小林麻衣子	犯罪被害者遺族の適応と回復に資する司法制度や支援	松井 豊
高柳 真人	シャイな教師の教職遂行を規定する認知的要因に関する研究	藤生 英行

2. 2014年度 修士論文

(1) 人間総合科学研究科

氏名	論文題目	指導教員
心理専攻 心理基礎コース		
安藤 史織	ニオイ発生源の定位に関する検討	綾部 早穂
金井 雅仁	感情の認識における文化的自己観と身体的作用	湯川進太郎
下江加奈子	楽観主義バイアスが防犯意識に及ぼす影響 一抑圧型対処スタイルに着目して一	湯川進太郎
三和 秀平	教師の学ぶ動機が有能観および健康状態に与える影響の検討 一教科指導に着目して一	外山 美樹
湯 立	大学生における学習興味の発達に影響を及ぼす要因の検討 一自己調整と対象価値に着目して一	外山 美樹

戎 夢婷 張 瑠	日中消費者における他国製品の購買行動に影響を及ぼす心理的要因 楽観性と悲観性が精神・身体的健康に与える影響のメカニズムの 日中比較研究 —ポジティブ感情の拡張-形成理論に着目して—	松井 豊 外山 美樹
-------------	---	---------------

心理専攻 心理臨床コース

秋山 優里 工藤 未妃 駒澤 有子 菅原 大地	援助要請に対する価値観の検討 月経前症候群および症状への困り感を緩和する心理的要因の検討 大学生における統合失調症に対する服薬イメージの検討 ポジティブ感情が心身に与える影響 —拡張-形成理論に基づいた探索的・実証的研究—	杉江 征 青木佐奈枝 杉江 征 杉江 征
高木 慧 長澤 美幸	「SNS 疲れ」の生起要因と抑制要因に関する検討 心理的距離からみた対人関係スタイルの検討 —パーソナリティ障害傾向に着目して—	青木佐奈枝 望月 聡
三宅 拓人 宮武 智佳	中学生のアサーション獲得動機に関する研究 青年期におけるアイデンティティ・プロセッシング・スタイルに関する検討 —職業意思決定・友人との活動に着目して—	濱口 佳和 濱口 佳和
山田 壮馬	専門教科への課題価値と能力認知がキャリア発達に及ぼす影響 —工業高校に着目して—	濱口 佳和

感性認知脳科学専攻

青景 珠実	ラットのモリス水迷路課題における迷路外空間情報と 迷路内手がかりの選択と NMDA 受容体の役割	一谷 幸男
高尾明寿香 富澤 優美	抗不安薬が雄マウスの社会的探索行動に及ぼす影響 新生仔期母仔分離経験による情動・社会行動変容に関わる オキシトシン受容体の役割	小川 園子 小川 園子

生涯発達専攻 カウンセリングコース

相川 康弘 草野久美栄	東日本大震災の被災者における使命感の構造 小学校低・中学年児童の人物画描画に関する研究： 標準化資料との比較および行動面が気になる子のデータの比較	松井 豊 藤生 英行
佐藤 健	学童保育指導員の相談援助ニーズについて —B市のASDの児童を含めた学童保育実践から	藤生 英行
岩田美奈子	消費者被害に遭う高齢者の心理的要因とその支援について —相談しない傾向の検証—	大川 一郎
大野 祐介 岡田 敏雄	下肢切断者における義足生活への適応に関する研究 定年後の再雇用制度とその変更がシニア社員の ワークモチベーションに及ぼす影響	安藤 智子 岡田 昌毅
押見 友美 片桐みゆき 斎藤真一郎 塩田 直樹	復職者をめぐる職場内いじめ感度について 成年被後見人の傍系親族における代理決定等の行動を規定する要因の検討 コーチングにおけるクライアントのコーチ選定要因の研究 社会人における“泣き”の効果 —感情の抑制と内省の観点から—	藤生 英行 大川 一郎 岡田 昌毅 藤 桂
鈴木 美帆	日本の大学教員が抱く業務負担感に関する研究	岡田 昌毅

鷹取 梨恵	高齢期の口腔関連 QOL と対処方略に関する検討	大川 一郎
田盛 信寿	連絡帳を通じた知的障害児をもつ保護者支援の検討	大川 一郎
富塚 澄江	死と生への意識が健康行動に及ぼす影響 —存在脅威管理理論に基づいて—	藤 桂
中村 准子	企業で働く人の職業生活における心理的居場所感に関する研究	岡田 昌毅
服部 典子	大学生の履修行動に関する研究 —動機づけ及びキャリア探索との関連から—	飯田 順子
深田 仁美	自治体職員の昇任意識への影響要因	松井 豊
藤野 紀子	幼児期の自閉症スペクトラム障害児を支援する専門職の困難とやりがいに関連する要因の検討	安藤 智子
前田 具美	キャリア・コンサルタントの内的要因がキャリア・コンサルティングの面接場面に与える影響について —キャリア発達とパーソナリティに着目して—	岡田 昌毅
松木 敦志	大学職員の職務ストレスおよび精神健康を規定する要因	松井 豊
柳田 宗孝	サクセスフル・サイコパスの条件 —犯罪と社会的成功に関連する要因の検討を通して—	藤 桂
山田 美紀	小学校におけるレジリエンスを高める心理教育プログラムの開発と実践 —集団 SST と SC の全員面談を用いて—	飯田 順子
横山 誠司	中高年者の老いの受け入れと自尊心の関係	藤生 英行

(2) 教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻

氏名	論文題目	指導教員
佐藤 隆正	小中学生における仲間集団の垣根を越えた交流に関する研究 —「個人の集団透過性」に着目して—	櫻井 茂男

3. 2014年度 人間学群心理学類 卒業論文

氏名	論文題目	指導教員
河本 千明	頬の赤みが無表情の表情認知に及ぼす影響	綾部 早穂
高山 奈央	ニオイ知覚の変動性 —類似度を指標として—	綾部 早穂
森谷 文恵	色が混合臭知覚に与える影響の検討	綾部 早穂
杉浦実穂子	ラットの遅延挿入放射状迷路行動における グルタミン酸 NMDA 受容体の関与：遅延時間予測不能場面を用いて	一谷 幸男
齋藤 健杜	雄マウスの超音波発生に関する研究	小川 園子
中桐 糸穂	カクレマノミの社会的地位形成に関する研究	小川 園子
井口 夏美	ラットの自発的物体再認に及ぼす見本項目数の影響 —海馬グルタミン酸 NMDA 受容体の関与—	山田 一夫
藤井 理美	ラットの検索誘導性忘却に及ぼす グルタミン酸 NMDA 受容体遮断薬検索前投与の効果	山田 一夫
小田いくえ	努力をほめると内発的動機づけは持続する？ —解決可能・不可能課題に注目して—	外山 美樹
紺野 凌	スポーツ競技者の認知的方略と試合への対処 —個人差を考慮した認知的介入のために—	外山 美樹

曾根 奈央	養育態度が中学生の友人関係および攻撃行動に与える影響 —自尊感情と他損感情を媒介して—	外山 美樹
田岸 愛理	レジリエンスとソーシャル・サポートが大学新入生の適応感に及ぼす影響 —資質的レジリエンスと獲得的レジリエンスに分けて—	外山 美樹
長峯 聖人	中学生における集団間の社会的比較に伴う感情の検討	外山 美樹
藤瀬 貴久	かけ声を出す動機がスポーツ競技集団の パフォーマンス予測要因に及ぼす影響	外山 美樹
山内 琢真	会話場面において愛想笑いのもたらす効果	外山 美樹
連天 裕人	異世代交流がモノの創発的利用に及ぼす影響：カプラ実験による検討	原田 悦子
倉田 雄貴	単語の意味とタイポグラフィの印象一致効果： 視覚世界パラダイムによる検討	原田 悦子
角田 早秋	新奇な情報機器利用におけるメンタルモデル形成支援 —シミュレータによる学習の検討—	原田 悦子
長谷川 莉子	生物らしさ知覚が機器利用者に与える影響 —擬人化エージェントによる検討—	原田 悦子
勝川 真妃	個人特性の観点からみた「気が利く行動」の探索的検討 —「気が利く行動」尺度の構成—	相川 充
笹村 一貴	議論及び日常会話場面における発言抑制行動に及ぼす 個人特性と発言抑制動機に関する検討	相川 充
佐藤 雄太	被援助者による第3者への向社会的行動生起過程に関する検討	相川 充
牧田 晴香	「感謝」を思い返すことが主観的ウェルビーイングに及ぼす 効果についての介入実験	相川 充
加藤由紀乃	インターネット上におけるネガティブ感情の社会的共有の効果	藤 桂
谷口 由樹	仮想現実環境における身体化された認知—仮想的温度感覚に着目して—	藤 桂
山崎 敬太	遠距離恋愛関係の関係良好性を促進する要因の検討	松井 豊
山岡 明奈	マインドワンダリングとアウェアネスが創造性に及ぼす影響	湯川進太郎
伊藤 直哉	進路選択における自己決定性と自我同一性の関連の検討 ～大学進学時と就職活動時に着目して～	青木佐奈枝
下津佐 綾	哀願的自己呈示と精神的健康度及び自己愛傾向との関連の検討	青木佐奈枝
高橋あすみ	心理的視野狭窄の構成概念に関する探索的研究 ～抑うつ・自殺念慮との関連と被援助志向性に与える影響～	青木佐奈枝
田中 大輔	否定的な養育態度が情動への否定的な評価を介して 大学生の解離傾向に与える影響	青木佐奈枝
大田 朋子	困難状況を個人の成長に結びつける対処が精神的健康に及ぼす影響	沢宮 容子
市川 靖子	概日リズムおよび行動活性化システムが精神的健康に及ぼす影響	沢宮 容子
上田 寛子	イラショナル・ビリーフ、ストレス対処、情動知能の成長感の関連	沢宮 容子
佐々木夕莉	自己受容が過剰適応に及ぼす影響 ～精神的健康との関連から～	杉江 征
高橋 歩実	身体感覚パターンと身体反応・個人特性との関連 —身体感覚増幅と失体感症傾向を要因として—	杉江 征
田村 慎	大学生における行動活性化が抑うつに及ぼす影響 —快活動と環境中の報酬知覚の観点から—	杉江 征
浅川 萌生	妬みの喚起と対処行動の選択	望月 聡
山口 智也	ユーモア生起の個人差の検討—不適合理論—統合モデルにあてはめて—	望月 聡
山田 美貴	時間不安	望月 聡
小西優里絵	親のアタッチメントスタイルと養育行動が子どもの行動特性に与える影響	安藤 智子
土井 茜	アタッチメントスタイルと感情制御の関連	櫻井 茂男
中山 伸一	主観的活力尺度の作成と信頼性および妥当性の検討	櫻井 茂男

山崎 陽介	企業面接時の演技が就職予定先への不安及び意識に与える影響	櫻井 茂男
加々美阿実	個性のとらえ方の発達の検討—個性的特徴と個性観を手がかりとして—	佐藤 有耕
林 高広	父親の態度や行動と子どもの将来への意欲の関連	佐藤 有耕
尾上 七海	大学生の関係性攻撃経験と友人関係・サイコパス傾向との関連 —加害経験に対する意味づけに着目して—	濱口 佳和
中得 友賀	中学生の親および友人への愛着といじめ役割が道徳不活性に及ぼす効果	濱口 佳和
蛭間 萌香	中学生の関係性攻撃被害時における実行されたサポートの影響 —コーピングとストレス反応を中心に—	濱口 佳和
良峰 歩実	教師・クラスメイトの行動がいじめにおける道徳不活性に及ぼす影響 —共感性に着目して—	濱口 佳和

V 2014年度各種表彰など

氏名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名(掲載誌), または受賞理由
心理学域		
○宇佐美 慧	平成26年度日本学校保健学会奨励賞 (日本学校保健学会, 2014年11月)	股村美里・ <u>宇佐美慧</u> ・福島昌子・米原裕美・東郷史治・西田淳志・佐々木司(2013). 中高生の睡眠習慣と精神的健康の変化に関する縦断的検討 学校保健学研究, 55 , 186-196.
○坂本 憲治	平成26年度日本学生相談学会研究奨励賞 (日本学生相談学会, 2014年5月)	<u>坂本憲治</u> (2012). 学生相談カウンセラーの職業的発達に関する質的研究:「私の学生相談」を素材として 学生相談研究, 32 , 187-200. <u>坂本憲治</u> (2013). 教職員と「問題を共有できない」困難の克服プロセス:学内連携の対処方略モデルの生成 学生相談研究, 34 , 109-123.
○沢宮 容子	平成26年度人間系優秀教員 (筑波大学, 2015年2月)	筑波大学の大学教員業績評価により, その業績が優れている教員として, 表彰を受けた。
○原田 悦子	国際ユニヴァーサルデザイン協議会(IAUD) Award 2014 ソーシャルデザイン部門金賞 (国際ユニヴァーサルデザイン協議会, 2014年11月)	継続的な地域在住の高齢者の参加を得て, みんなラボコミュニティでの様々な活動実施に対して, 表彰を受けた。
○藤 桂	平成26年度日本心理学会第78回大会特別優秀発表賞 (日本心理学会, 2014年1月)	永野惣一・堀内泰利・尾野裕美・ <u>藤桂</u> (2014). 弱くつながり, 強く働く——弱い紐帯との接触によるキャリア・リフレーミングとその効果—— 日本心理学会第78回大会発表論文集, 1204.
○松井 豊	日本産業衛生学会産業看護部会ポスター優秀賞 (日本産業衛生学会, 2014年9月)	佐藤左千子・田久保尚子・小峰慎吾・ <u>松井豊</u> (2014). 就労中のメンタルヘルス不調者に対応する管理監督者の心理的負担 日本産業衛生学会第24回産業医・産業看護全国協議会.

- 山田 一夫 日本感性工学会出版賞
(日本感性工学会, 2014年9月)
- 山田 一夫 平成26年度人間系優秀教員
(筑波大学, 2015年2月)
- 心理学専攻
- 市川 玲子 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 2014年7月)
- 小川 緑 SSTS 旅費支援 Grant
(斉藤幸子味覚嗅覚研究所, 2014年10月)
- 古村健太郎 日工組社会安全財団若手研究助成
(日工組社会安全財団, 2014年4月-2015年10月)
- 古村健太郎 人間系専攻大学院生の国際学会発表に対する支援事業
(筑波大学, 2014年8月)
- 古村健太郎 人間総合科学研究科 TF 優秀賞 (筑波大学, 2015年2月)
- 古村健太郎 日本パーソナリティ心理学会第23回大会優秀大会発表賞
(日本パーソナリティ心理学会, 2015年3月)
- 高田 琢弘 Winner of the Poster Prize at NAGS 24th Annual Conference
(the National Association for Gambling Studies, 2014年11月)
- 高田 治樹 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻長賞
(筑波大学, 2015年3月)
- 中野 詩織 大学生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2014年6月, 但し辞退)
- 中野 詩織 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 2014年7月)
- 中野 詩織 人間系専攻大学院生の国際学会発表に対する支援事業
(筑波大学, 2014年9月)
- 久野節二・山田一夫・尾崎 繁・内山俊朗 (編) (2013). 感性認知脳科学への招待 筑波大学出版会
筑波大学の大学教員業績評価により, その業績が優れている教員として, 表彰を受けた。
- Overlaps among personality disorders, and their relationships with depression: Employing a cross-lagged effects model.
The 16th annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology.
Do impressions of beverages change by the surface textures of cups?
日本味と匂学会第48回大会
古村健太郎「マインドセット理論に基づく行動パターンの学習はDVの予防に効果的か?」が採択され, 研究助成金100万円を受領した。
Influence of approach-avoidance commitment to romantic relationships on mental health and subjective happiness.
the 28th conference of the European Health Psychology Society.
人間学群心理学類開設科目「対人社会心理学」での講義内容「恋愛に関するいくつかのトピック」が優秀であったと評価された。
古村健太郎 (2014). コミットメントが親密な関係における感情経験に及ぼす影響 日本パーソナリティ心理学会第23回大会発表論文集, 61.
The effects of controlled perceived luck on emotion and behavior while gambling.
the National Association for Gambling Studies 24th Annual Conference
大学サークル集団への態度変容過程の検討, 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文
Sequential context effects on odor pleasantness rating. clinical chemosensation, November 2014
Sequential context effects on odor pleasantness rating. clinical chemosensation, November 2014
The influence of hedonic value of preceding stimuli on odor pleasantness rating.
2nd World Congress on Digital Olfaction Society, December 2014

- 中野 詩織 心理学独創研究内山記念賞
(筑波大学心友会, 2014年9月) Nakano, S., & Ayabe-Kanamura, S. (2013). Smell behavior during odor preference decision. *Chemosensory Perception*, 6, 140-147.
- 中野 詩織 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2015年3月) ニオイの知覚に及ぼす刺激文脈の影響, 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文
- 仲嶺 真 インターネットと青少年保護に関する研究支援事業
(安心ネットづくり促進協議会, 2014年4月-12月) 仲嶺 真・田中伸之輔「SNSを介した異性との出会いがトラブルへと繋がるプロセス-出会いを求める背景と出会った後の相互作用についての検討-」が採択され, 研究助成金50万円を受領した。
- 仲嶺 真 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 2014年7月) Preference for opening lines in Japan. *International Convention of Psychological Science 2015*
- 仲嶺 真 平成26年度日本心理学会学術大会優秀発表賞
(日本心理学会, 2015年1月) 仲嶺 真 (2014). 初対面男性への対応へと至る女性の意思決定過程 日本心理学会第78回大会発表論文集, 109.
- 宮代こずゑ 若手研究者国際会議発表助成
(日本認知科学会, 2014年7月) Effects of harmonization between word's meaning and voice quality on memory. *CogSci2014, Poster Session II-124, Quebec City Convention Center, Quebec City, Canada.*
- 宮代こずゑ 韓国認知生物心理学会への発表支援
(日本認知心理学会, 2015年1月) Presenting information through multiple modalities: Some harmful effects on processing of words. *The Korean Journal of Cognitive and Biological Psychology*, 27, 65.

ヒューマン・ケア科学専攻

- 佐々木恵理 第9回 児童教育実践についての研究助成
但し, 共同研究者として
(公益財団法人博報教育財団, 2014年4月-2015年3月) 長尾順子・宮城卓司・真喜志悦子・佐々木恵理「論理的思考活動を支える言語力育成について」が採択され, 研究助成金1,969,500円を受領した。
- 松本 昇 日本パーソナリティ心理学会第23回大会 優秀大会発表賞
(日本パーソナリティ心理学会, 2015年3月) 松本 昇・望月 聡 (2014). 自伝的記憶の具体性の減少は抑うつが悪化を予測する—非臨床群におけるCaRFAXモデルの縦断的検討— 日本パーソナリティ心理学会第23回大会発表論文集, 59.
- 水野 雅之 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻長賞
(筑波大学, 2015年3月) サポート資源の認知と活用が進路選択および就職活動に及ぼす影響, 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻博士論文
- Lin Shuzhen 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 2014年7月) Psychosocial effects of cognitive training activity on community-dwelling older adults: a comparison between first-timer participants and participants with prior participation experience. *28th International Congress of Applied Psychology*, 2014

生涯発達科学専攻

- 小林麻衣子 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2015年3月) 犯罪被害者遺族の適応と回復に資する司法制度や支援, 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士論文
- 高柳 真人 平成26年度茗溪会賞
(筑波大学, 2015年3月) 高知県, 京都府などにおける, 青少年育成に関わる地域社会貢献活動が, 筑波大学の名前を知らしめる貢献であり, 本表彰に相応しいと生涯発達科学専攻会議にて評価されたため。

心理専攻

- 安藤 史織 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2014年9月) Investigation of effective cue on odor localization.
2nd Digital olfaction society.
- 井ノ川侑果 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2014年9月) Secondary emotion and double suppression related with mental health.
2014 The International Symposium on Social Science.
- 金井 雅仁 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞
(筑波大学, 2015年3月) 感情の認識における文化的自己観と身体の役割, 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 金井 雅仁 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 2014年7月) Experimental examination of the relationship between cultural self-construal and bodily sensation.
22nd Congress of the International Association for Cross-Cultural Psychology.
- 下江加奈子 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2014年9月) The relationship between repressors and optimism toward crime victim.
International Research Conference on Business, Economics and Social Sciences, IRC-2014.
- 三和 秀平 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2015年3月) 教師の学ぶ動機が有能観および健康状態に与える影響の検討—教科指導に着目して—, 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 山田 壮馬 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞
(筑波大学, 2015年3月) 専門教科への課題価値と能力認知がキャリア発達に及ぼす影響—工業高校に着目して—, 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 哈 布日 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2014年9月) Is intention the only way to determine behavior? Differentiating factors determining household earthquake preparedness from intention.
International Research Conference on Business, Economics and Social Sciences, IRC-2014, Singapore, September, 2014.
- 戎 夢婷 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2014年9月) Why chinese consumers prefer to buy Japanese products despite holding anti-Japanese sentiments?
2014 The 3rd Hong Kong International Conference on Education, Psychology and Society.

生涯発達専攻 カウンセリングコース

- 相川 康弘 平成26年度茗溪会賞
(筑波大学, 2015年3月) 東日本大震災の被災地における支援活動とその活動に関連した研究成果が、本表彰に相応しいと評価されたため。
- 大野 祐介 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻長賞
(筑波大学, 2015年3月) 下肢切断者における義足生活への適応に関する研究, 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻修士論文
- 山田 美紀 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻長賞
(筑波大学, 2015年3月) 小学校におけるレジリエンスを高める心理教育プログラムの開発と実践—集団 SST と SC の全員面談を用いて—, 平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻修士論文

心理学類

- 加藤由紀乃 平成26年度筑波大学人間学群長賞
(筑波大学, 2015年3月) 修学, 卒業研究, 顕著な課外活動・社会的活動において優秀な成績を収めた学生として表彰を受けた。
- 中桐 糸穂 平成26年度筑波大学人間学群長賞
(筑波大学, 2015年3月) 卒業研究において優秀な成績を収めた学生として表彰を受けた。